



Answer Key

解答・解説

Class _____ No. _____ Name _____

Reading Check

1. B 2. D 3. A 4. C 5. B 6. C 7. A 8. D

True or False: 1. T 2. F 3. T 4. F 5. T 6. F

Match

= pie = circle = apple = pizza = brain = trophy = clock = ruler

Unscramble

1. CIRCLE 2. DIGIT 3. ROUND 4. MEMORY 5. SLICE 6. CONTEST

Fill in the blanks

(1) March (2) pie (3) buys (4) oven (5) letter (6) circle (7) digits (8) wins (9) slice (10) best

Sentence order

1. Pi Day is on March 14.
2. Most pies are round like a circle.
3. Pi and pie sound the same.
4. He said the digits from memory.
5. Some students throw pies at their teachers.

Secret Code

HAPPY PI DAY (ハッピー・パイ・デー)

Maze — Secret word

CIRCLE

解説 (Reading Check)

1. B 全体を通して、円周率の日の始まり、パイを食べる理由、記録などを紹介しています。アインシュタインは一部に出てくるだけで、科学館はサンフランシスコにあります。
2. D 第1段落に a scientist named Larry Shaw とあります。アインシュタインは3月14日が誕生日なだけで、日本の男性は暗唱記録の人です。
3. A 第2段落の最後に people write the month first, so March 14 looks like 3.14 とあります。月を先に書く日付の書き方が理由です。
4. C 最後の段落に It took him about 16 hours とあります。休けいにはおにぎりを食べたことも書かれています。
5. B from memory は「記憶から」、つまり何も見ずに言うことです。本やコンピューターを使ったら暗唱になりません。
6. C 第4段落に It is the birthday of Albert Einstein とあります。円周率は終わらず、pi と pie は同じ発音、始まりはサンフランシスコです。
7. A 第2段落に After 3.14 come 159 とあります。3月14日の1時59分で 3.14159 になる、と推論できます。ほかの選択肢は本文にありません。
8. D エミリーが The winner gets to throw a pie at Mr. Brown. と言っています。だからソウタは午前中ずっと勉強すると言ったのです。



和訳（問題文）

- T/F 1. 円周率の日は3月14日です。
- T/F 2. 円周率の日は日本で始まりました。（正しくはアメリカ・サンフランシスコ）
- T/F 3. 英語で pi と pie は同じ発音です。
- T/F 4. 円周率は3.14で終わります。（正しくは終わらない）
- T/F 5. 3月14日はアルベルト・アインシュタインの誕生日です。
- T/F 6. 日本の学校では円周率は3だと教えます。（正しくは3.14）
- Unscramble 1. CIRCLE＝円
- Unscramble 2. DIGIT＝数字・けた
- Unscramble 3. ROUND＝丸い
- Unscramble 4. MEMORY＝記憶
- Unscramble 5. SLICE＝ひと切れ
- Unscramble 6. CONTEST＝コンテスト
- Order 1. 円周率の日は3月14日です。
- Order 2. ほとんどのパイは円のように丸いです。
- Order 3. pi と pie は同じ発音です。
- Order 4. 彼は何も見ずにその数字を言いました。
- Order 5. 先生にパイを投げる生徒もいます。
- ... can say pi to five digits＝円周率を5けたと言える
- ... likes apple pie＝アップルパイが好き
- ... knows who Albert Einstein was＝アルベルト・アインシュタインが誰か知っている
- ... has baked a pie or a cake＝パイかケーキを焼いたことがある
- ... has a birthday in March＝3月生まれ
- ... likes math＝数学が好き
- ... has visited a science museum＝科学館に行ったことがある
- ... can draw a circle without a tool＝道具なしで円がかける
- On Pi Day, I want to eat _____ pie because _____.＝円周率の日に、私は_____パイが食べたいです。なぜなら_____だからです。
- If I could make a new math holiday, it would be on _____ because _____.＝新しい数学の記念日を作れるなら、_____にします。なぜなら_____だからです。
- One thing I like about math is _____.＝数学で好きなことの1つは_____です。

全訳（Reading）

1 1988年、ラリー・ショーという科学者が、おもしろいことを思いつきました。彼はサンフランシスコの科学館で働いていました。3月14日、彼と館内の人たちは、そこにある大きな円のまわりを歩きました。それから、みんなでフルーツパイを食べました。それが円周率の日の始まりでした。

2 では、円周率とは何でしょうか。円周率は数です。円をまっすぐ横切る線が、円のまわりの線に何回分入るかを教えてくれます。答えはいつも約3.14です。でも円周率は終わりません。3.14のあとに159、265と、たくさんの数字が続きます。アメリカでは月を先に書くので、3月14日が3.14のように見えるのです。

3 なぜこの日にパイを食べるのでしょうか。英語では、pi と pie は同じ発音です。それに、ほとんどのパイは円のように丸い形です。パイ・パーティーを開く学校もあれば、先生にクリームパイを投げる生徒もいます。1時59分まで待ってパイを切る人もいます。

4 3月14日は、別の理由でも特別です。有名な科学者アルベルト・アインシュタインの誕生日なのです。彼が住んでいた町プリンストンでは、アインシュタインのそっくりさんコンテストが開かれます。2020年からは、この日は国際数学の日にもなっています。

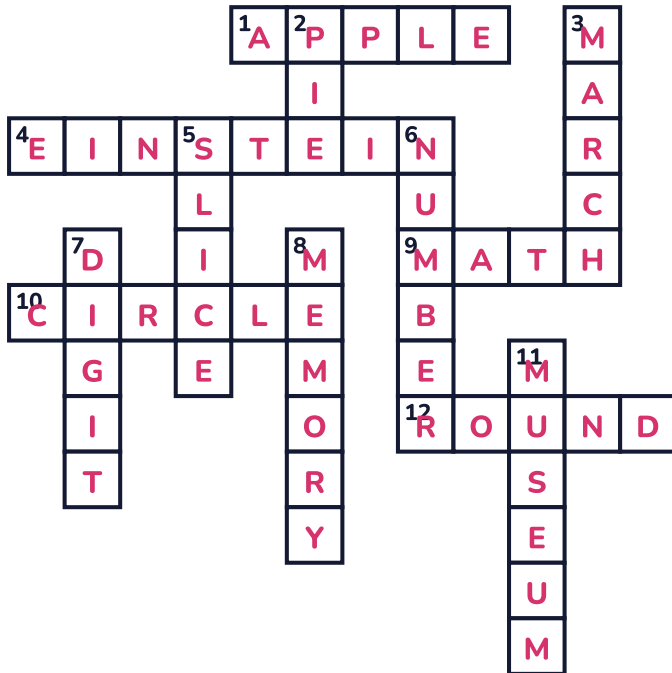
5 円周率をできるだけ多く覚えようとする人もいます。2006年、日本の男性が10万けたを暗唱しました。それにはおよそ16時間かかり、彼は休けいのあいだにおにぎりを食べました。円周率の日を楽しむのに、10万けたはいりません。3.14だけ覚えて、パイをひと切れ食べればいいのです！



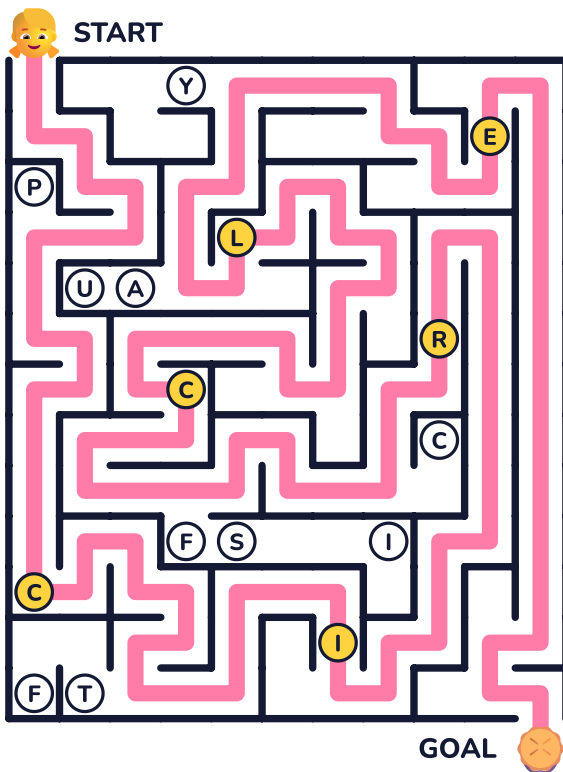
解答 (パズル)

Class _____ **No.** _____ **Name** _____

Word Search



Maze





Answer Key (Advanced)

解答（発展セット）

Class _____ No. _____ Name _____

発展セット C1 : Comprehension

1. D 第1・第2段落で「実用には少ないけたで足りるのに、なぜ記録を伸ばすのか」を論じ、第3段落で Pi Day itself raises a similar question. と、円周率の日にも同じ問いがあると述べています。1は円周率は終わらない数なので誤り、2は本文と逆、3も本文と逆です。
2. A 第1段落 use only 15 decimal places when they guide spacecraft が根拠です。40は宇宙全体の大きさの円でも必要なけた数の上限、110は計算にかかった日数、314兆は2025年の計算記録です。
3. C 第2段落 a long pi calculation is an extreme stress test for new hardware and software が根拠です。1はNASAは15けたで足りると書かれているので誤り、2と4は記録を伸ばす理由としては書かれていません。
4. B 直前に In Japan, where March 14 is better known as White Day とあるので、3月14日はホワイトデーのお菓子のほうが注目され、数学は目立ちにくいと推測できます。1・3・4は本文に根拠がありません。
5. A impulse は「（何かをしたいという）強い気持ち、衝動」。直前の human curiosity（人間の好奇心）を言いかえていて、山に登る、何万けたも暗記する、という行動を「駆りたてる」ものとして使われています。2～4は文脈に合いません。
6. C 第1段落で、宇宙全体の大きさの円を原子1個の幅の正確さで測っても40けた未満で足りると述べ、314兆けたの記録との差を示しています。1・2・4はこの例のねらいとは関係がなく、本文にも書かれていません。

発展セット C2 : Vocabulary

- 1-b (calculate＝計算する) 2-c (decimal place＝小数点以下のけた) 3-d (practical＝実用的な、実際の役に立つ) 4-e (extreme＝極端な、非常に厳しい) 5-f (curiosity＝好奇心) 6-g (impulse＝衝動、（何かをしたい）強い気持ち) 7-h (recite＝暗唱する) 8-a (discount＝割引)

Paraphrase (例)

1. But even NASA needs only 15 digits after the decimal point to fly spacecraft through the solar system.
2. People also do it because they are curious, just like people who climb mountains or learn tens of thousands of digits by heart.
3. Other people say that a funny holiday can help students stop being afraid of math, and that this feeling may be more important than one fact.

Summary (例)

Computers have calculated pi to 314 trillion digits, but NASA needs only 15 decimal places. People push the record to test new machines and because they are curious. Pi Day raises a similar question: critics say it teaches little math, but supporters say it helps students feel better about math.

Advanced Reading 全訳

1 2025年11月、あるチームが円周率を314兆けたまで計算したと発表しました。コンピューターで110日かかる作業でした。しかし NASAのジェット推進研究所の技術者たちは、太陽系を横切って探査機を導くとき、小数点以下15けたしか使いません。JPLによれば、観測できる宇宙ほどの大きさの円でさえ、原子1個の幅の精度で測るのに40けたもいらなないので。

2 では、なぜ人々は記録を伸ばしつづけるのでしょうか。答えの一部は実用的なものです。長い円周率の計算は、新しい機械やソフトウェアにとって極端な負荷テストになるのです。そして一部は、ただの人間の好奇心です。山に登ったり、何万けたも暗記したりする人を動かすのと同じ衝動です。

3 円周率の日そのものも、似た問いを投げかけます。批判する人は、パイを食べたりけたを暗唱したりしても本物の数学はほとんど学べないし、お店はこの日付を主に割引に使っているだけだと言います。支持する人は、ばかばかしい記念日が、生徒がこわがりがちな教科への気持ちを変えられるし、その気持ちはどんな1つの知識よりも大切かもしれない、と答えます。3月14日がホワイトデーとして知られる日本では、先生たちにはもう1つ課題があります。数学はお菓子と競争しなければならないのです。